

防災情報を入手しましょう

テレビや携帯電話を使って情報を入手する方法をご紹介します。いざというときのために、事前に確認してみてください。

テレビから入手する方法

知る

- 1 デジタル放送でチャンネル「3(NHK)」に合わせる
- 2 リモコンの **①** ボタンを押す(データ放送が表示)
- 3 リモコンの **赤** **青** **緑** ボタンで
見たい情報を選択する

入手できる情報

- 赤 ボタン→気象情報、警報注意報
- 青 ボタン→最新地震情報
- 緑 ボタン→地震・津波情報

ポイント! 地域設定をしておく、設定している市町村の天気予報や防災情報が常に表示されます。
地域設定はお住まいの地域の郵便番号等で設定できます。

「サポートメール@防災くんねっぷ」を利用する方法

知る

- 1 下記アドレスに空メールを送信(タイトル・本文は空欄)
touroku@town.kunneppu.hokkaido.jp
- 2 数分で仮登録メールが届く(この段階では未登録)
- 3 仮登録メールの本文に書かれているアドレスにアクセス
- 4 「登録する」にアクセス
- 5 登録完了画面が表示(手続き完了)

入手できる情報



- 警報などの発表における気象情報
- 災害時における防災情報
- 国民保護に係る緊急情報

ポイント! 右の二次元バーコードからもアクセスできます。



携帯電話・スマートフォンから入手する方法

知る

● 気象庁ホームページ 60分先までの降水強度、雷活動度、竜巻発生確度を予測(レーダー・ナウキャスト) 6時間先までの1時間ごとの降水分布を予測(降水短時間予報) 指定河川の水位または流量を示した洪水予報を提供(指定河川洪水予報)	http://www.jma.go.jp/
● 北海道土砂災害警戒情報 土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。	http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/
● 川の防災情報 リアルタイム雨量・水位の情報を提供。水防警報、洪水予報やダム放流を通知。	http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do
● 北海道地区道路情報 道路通行止め実施箇所を掲載。峠の現状をカメラ映像で見ることができます。	http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/
● 北海道の道路情報総合案内サイト 北の道ナビ 道路交通情報・気象情報・防災情報などが総合的に掲載されています。	http://northern-road.jp/navi/
● 北海道防災情報 北海道において発令されている防災情報を提供しています。	 (パソコン/スマートフォン) https://www.bousai-hokkaido.jp/  (携帯電話) http://i.bousai-hokkaido.jp/

防災ガイドマップの説明

この防災ガイドマップは、地震、洪水、土砂災害の危険箇所を示しています。

地図の見方

避難所や洪水の浸水、土砂災害の危険がある箇所を、右の凡例で示しています。

避難所や防災関係施設、避難経路を示しています。お住まいの地域の避難所を確認しておきましょう。

訓子府川が氾濫したときに想定される浸水区域と浸水深を示しています。

常呂川が氾濫したときに想定される浸水区域と浸水深を示しています。

土砂災害の危険がある場所を示しています。

防災関連施設の凡例	
	風水害の指定避難所
	地震の指定避難所
	福祉避難所
	指定緊急避難場所
	役場
	消防署
	駐在所
	病院
	ヘリポート
	浸水時の避難経路
訓子府川で想定される浸水深	
	0.0m~0.5m
	0.5m~1.0m
	1.0m~2.0m
	2.0m~5.0m
常呂川で想定される浸水深	
	0.0m~0.5m
	0.5m~3.0m
	3.0m~5.0m
	5.0m~10.0m
	12時間総雨量280mmの降雨に伴う洪水による浸水想定区域
土砂災害危険箇所の凡例	
	土石流危険渓流
	急傾斜崩壊危険箇所

自宅では生活できない人などが屋内の施設で身体や生命を守る場所です。

高齢・障がい者などの要配慮者が避難する施設です。

地震などにより一時的に避難する場所です。

土石流が起こるおそれのある区域です。赤で囲まれた区域は土砂が流れ出る流域、黄色の区域は土砂が氾濫する区域です。

がけ崩れが起こるおそれのある箇所です。

常呂川の浸水想定区域の説明

常呂川浸水想定区域は、国土交通省北海道開発局網走開発建設部が作成・公表したものです。この洪水浸水想定区域は、**常呂川流域に12時間総雨量138mm(概ね100年に1度の大雨)の降雨に伴う洪水**により、常呂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

※常呂川流域に点線で示されている洪水浸水想定区域は、**常呂川流域に12時間総雨量280mm(概ね100年に1度の大雨)の降雨に伴う洪水により、常呂川が氾濫した場合の浸水想定区域を示しています。**
想定された雨量の降雨が予想される場合は、この浸水想定区域外の避難所、もしくは高台に避難してください。

参考

平成28年8月20日にオホーツク管内に上陸した台風11号による災害時の降雨量は、12時間総雨量で114mmとなっています。
※このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、内水による氾濫などを考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

土砂災害の危険箇所の説明

北海道が大雨などによる土砂災害危険箇所(土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所)の位置図を市町村ごとに作成し、平成15年3月に公表したものです。

訓子府川の浸水想定区域の説明

訓子府川浸水想定区域は、北海道が作成・公表したものです。

この洪水浸水想定区域は、**訓子府川流域に24時間総雨量142mm(概ね50年に1度の大雨)の降雨に伴う洪水**により、訓子府川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。